

総合交通メールマガジン

第57号

平成25年3月29日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）



目次

Topics

【震災特集】

◆「東日本大震災と三陸鉄道」

（三陸鉄道株式会社 運行本部長 金野 淳一）

◆国土交通省、東北の地方支分部局から陸海空の交通に係る取り組み紹介 ～ 各機関のHPより関係情報をピックアップしてリンクとしてご紹介～

最近の国の動き

◆一自転車施策等最近の話題をお伝えしますー

総合交通体系グループだより

◆第5回全国幹線旅客純流動調査の結果公表について

（純流動調査担当者 堀専門調査官）

◆「ICTを活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」（第10回）について

（ICT歩行者移動支援施策担当者 猪股課長補佐/園部主査）

◆～受付窓口の変更がありましたらご連絡ください～

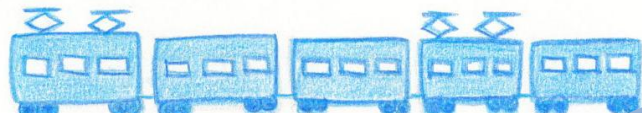
◆地域モビリティ確保の知恵袋2012～ 災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～ いつでもご質問等対応します

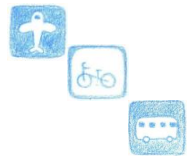
Infomation

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

編集後記





Topics

【震災特集】

◆「東日本大震災と三陸鉄道」

(三陸鉄道株式会社 運行本部長 金野 淳一)

NHK朝の連続ドラマをご覧になっている方々もいらっしゃるかもしれませんが、4月からは三陸の岩手県久慈市を舞台とした新しいドラマが始まるようです。

そんな話題もある三陸より、震災発生から2年経過した中で、東日本大震災被災からこれまでの取り組みのみならず、三陸鉄道の生い立ちから、多様な車両のご紹介など、幅広い内容となっております。是非ご覧頂き興味を持って頂けたら、写真や文章だけでなく、実際の「現地」を体験頂けると幸いです。

《紹介記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1303sannriku.pdf>



本文より（一部路線で運行を復活する南リアス線を走る予定の新車両）

◆国土交通省、東北の地方支分部局から陸海空の交通等に係る取り組み紹介 ～ 各機関のHPより関係情報をピックアップしてリンクとしてご紹介 ～ 3.11 復興特集～復興の今、そしてこれから～（首相官邸）

http://www.kantei.go.jp/jp/headline/3_11_2013fukko.html

東日本大震災から、2年。（中略）進んでいること、これから進めること。ここでは、復興の「今」と「これから」の一部を、さまざまな政府の取組みとともにお伝えできればと思います。（HP 抜粋）

東日本大震災からの復旧・復興に向けた取り組み（国土交通省）

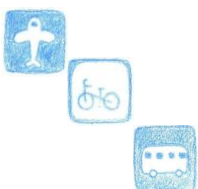
http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_002322.html

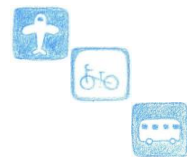
国土交通省として取り組んでいる東日本大震災関係の被災地域の復旧・復興施策、自治体向けに提供している情報、震災発生以降、国土交通省等のこれまでの取り組みについて、取りまとめられています。

震災伝承館（東北地方整備局）

<http://infra-archive311.jp/>

東日本大震災は、日本の甚大な津波災害を画像・映像等で克明に記録した初めての災害とされています。我々東北地方整備局も津波石を残した先祖達のように、同じ悲劇を繰り返さないことを願い、この被災経験・教訓を活かすための記録を作成しました。（HP 抜粋）





3.11 復興道路・復興支援道路情報サイト 「復興道路」(東北地方整備局)

<http://www.thr.mlit.go.jp/road/fukkou/index.html>

このホームページは、「復興道路」「復興支援道路」の進捗状況を国民の皆様方にお伝えするために作成しているものです。(HP 抜粋)

走り出せ東北の鉄道 (東北運輸局)

<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/td/pamphlet.pdf>

平成23年3月11日、東北沿岸部の鉄道は列車や駅舎が跡形もなく流されるなど、目を覆いたくなるような惨状でした。(中略)多くの方々のお力添えを得て、東北の鉄道は徐々に復旧してきましたが、今でも約300kmの路線が運休しています。

東北の鉄道の復旧・復興はまだまだ道半ばですが、あの日から2年間の歩みをこの冊子にまとめました。(HP 抜粋)

沿岸部の鉄道の復旧に向けた検討体制について (東北運輸局)

<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/td/td250316.pdf>



最近の国の動き

() 内は情報元の組織です

◆自転車施策関連 (都市局)

～平成25年2月5日、全国コミュニティサイクル担当者会議を開催しました～

以前もご紹介しましたが、国内のコミュニティサイクル導入に取り組む、国・地方公共団体とコンサルタント、関連事業者が一堂に会し情報交換を行うことを目的に担当者会議が開催されています、是非、ご覧下さい。

http://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_gairo_fr_000016.html

◆公共交通施策関連 (総合政策局)

～公共交通の「快適性・安心性評価指標」について(首都圏、近畿圏)～

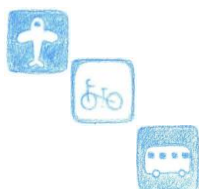
国土交通省では、平成16年3月、公共交通機関の快適性・安心性向上の取組みを促進するための方策の一つとして、快適性・安心性評価指標(ICE Index of Comfortable and Easeful public transportation)を提案いたしました。今回発表する数値は平成23年度末現在のものであります。関係者の協力を得て、9項目の指標について首都圏並びに近畿圏の鉄道事業者及びバス事業者を対象としてとりまとめました。(HP 抜粋)

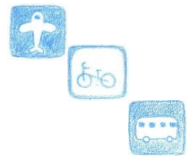
http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo09_hh_000062.html

◆道路施策関係 (道路局)

～通学路における緊急合同点検の対策箇所図等の公表状況について～

登下校中の児童等が死傷する事故が連続して発生したことを受けて、全国で通学路の緊





急合同点検を実施しました。緊急合同点検を受けて、対策内容が取りまとまった市区町村においては、通学路の安全確保について地域で認識を共有する観点から、対策必要箇所及び対策内容を示した箇所図及び箇所一覧表を作成し、ホームページ等で公表していますが、2月末時点の公表状況を取りまとめましたので、公表します。(HPより抜粋)

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000342.html

◆鉄道施策関係 (鉄道局)

～「津波発生時における鉄道旅客の安全確保に関する協議会」報告書について～

「津波発生時における鉄道旅客の安全確保に関する協議会」において、東日本大震災の津波発生時の旅客の安全確保状況等を検証するとともに、南海トラフ巨大地震等による最大クラスの津波からの避難の基本的な考え方（素早い避難が最も有効かつ重要な対策であること等）を踏まえた対応方針等を検討し、「報告書」としてとりまとめましたのでお知らせします。(HPより抜粋)

http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk8_000017.html

◆航空施策関係 (航空局)

～空港の津波早期復旧対策の検討について～

平成23年3月11日に発生した大震災を受け、国土交通省航空局では平成23年10月に「空港の津波対策の方針」を策定しています。(中略)津波早期復旧対策については、その検討の前提とする6空港（※東京国際空港を除く）の津波浸水想定高さ（内閣府が発表した最大クラスの津波高さに基づく）についてこのほど取りまとめました。

これを踏まえて、津波早期復旧対策について、有識者を含めた「空港の津波早期復旧対策検討委員会」を開催し、検討を進めていくこととしましたのでお知らせします。(HPより抜粋)

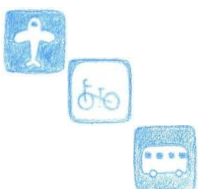
http://www.mlit.go.jp/report/press/kouku09_hh_000036.html

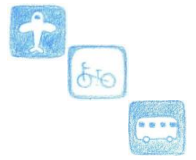
◆港湾施策関係 (港湾局)

～第1回「港湾の津波避難施設の設計検討WG」が開催されました～

(1) 港湾の津波避難施設の設計検討WGの目的及び位置づけについて (2) 港湾における津波避難施設の現状と既存指針等の整理 (3) 今後の検討内容及び問題点について を議題として取り組まれているそうです。

http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk5_000020.html





総合交通体系グループだより

◆第5回全国幹線旅客純流動調査の結果公表について

(純流動調査担当者 堀専門調査官)

「全国幹線旅客純流動調査」は、我が国の幹線交通機関における旅客流動の実態を定量的かつ網羅的に把握することを目的とした調査で、1990（平成2）年度の開始以来、5年に1回の頻度で実施しています。今般、2010（平成22）年度に実施した第5回調査の結果を取りまとめましたので公表します。幹線交通機関の輸送実績を整理する他の流動調査とは異なり、個々の旅客に着目することでその旅行行動全体を捉えており、出発地・目的地、旅行目的や旅客属性を把握することができます。

《記者発表はこちらから》 http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo23_hh_000036.html

《公表資料はこちらから↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000016.html

◆「ICTを活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」（第10回）について

(ICT歩行者移動支援施策担当者 猪股課長補佐/園部主査)

平成22年より国土交通大臣政務官主宰として進めております本勉強会、前号にて、第9回をご報告いたしました。引き続き第10回の勉強会について報告いたします。

今回は、歩行者移動支援サービスの展開にあたってのサービス水準の確保に関する具体的なイメージや、今年度を実施した取組みに内容に対して意見交換されました。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1303bennkyoukai.pdf>

◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更をご連絡願います。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎いたします。（連絡先の追加でも結構です）

なお、変更内容については、右記連絡先までお願いします。 E-mail : soukou@mlit.go.jp

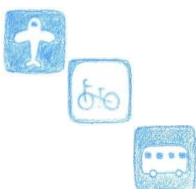
◆地域のモビリティ確保の知恵袋2012

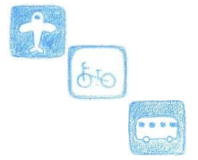
～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～ いつでもご質問等対応します

※3/26に宮崎県にて本知恵袋のご説明をさせて頂きました。このようなご要望がございましたら極力積極的に対応していきたいと思っておりますので、ご連絡下さい。

《知恵袋2012～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～はこちらから↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_tk_000037.html





Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当室では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】例えば、・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み（交通の再編等）・ 交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

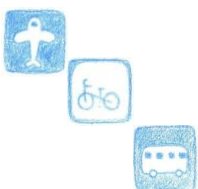
※ これまでにご紹介したものを、今回グループだよりで整理しました、是非ご覧下さい。

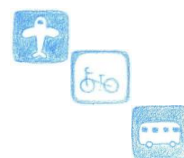
バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

◆総合交通体系グループの所在

《地図はこちら→》 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1204itizu.pdf>





編集後記



今年度最後のメールマガジン、第57号です。本号では、震災特集として、前号で少し触れておりました「三陸鉄道」についてご寄稿頂いたものを紹介しています。災害からの復興は非常に厳しいものも多々おありかと思いますが、今回ご寄稿頂いた内容を見て頂くと、力強く、明るく、前に向かっていく事を感じて頂けるのではないかと思います。是非、「笑顔をつなぐ、ずっと・・・」の現場を体験頂けると幸いです。

毎年一回開催しております全国会議「総合的交通基盤整備連絡会議」ですが、現在以下の予定にて検討を進めております。正式な御連絡が出来るとなりましたら、また改めてお伝えいたしますが、是非、各自治体の皆様等振るってご参加願います。

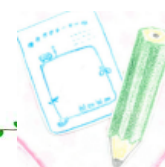
日時：平成25年5月30日（木） 13時頃開始予定

場所：東京（霞ヶ関合同庁舎2号館会議室）

もう一点情報提供と致しまして、先日海外の自転車利用環境を拝見する機会を頂きました。メールマガジンに向けた「ライトテイスト」の取りまとめとしておりますが、アムステルダム、ブリュッセル、ロンドン3都市の自転車利用の様子を写真でご紹介しておりますので、お手隙の時でもご覧下さい。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1303jitennsha.pdf>

編集者Nの担当するメールマガジンとしては、この57号で最後となりました。これまでご購入頂きありがとうございました。2年間担当させていただき、極力幅の広い話題をご提供できればと考えておりましたが、いかがだったでしょうか？少しなりとも皆様の琴線に触れる話題を提供できていたら幸いです。引き続き、私の後任が本メールマガジンを担当いたします、新たな装い、新たなムードになる部分もあるかと思いますが、今後ともよろしく願いいたします。



【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課 野津隆太（総合交通体系グループ）

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：soukou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

